

主 な 学 校 感 染 症 一 覧

●出席停止となる感染症

＊下の一覧にあげた病気は、出席停止となる感染症です。かかったら学校に報告し、医師の許可があるまで登校できません。

＜第１種学校感染症＞

病 名				出 席 停 止 期 間
エボラ出血症 クリミア・コンゴ出血熱 重症急性呼吸器症候群（SARS） 痘そう 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白随炎				治癒するまで

＜第２種学校感染症＞

病 名	出 席 停 止 期 間	主 な 症 状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予 防 方 法	好発季節
インフルエンザ	「発症した後５日を経過」し、かつ「解熱後２日を経過する」まで	急な発熱、頭痛、咽頭痛	飛沫感染	１～２日	発病後	うがい、手洗い。	冬
		全身倦怠感、嘔吐、下痢			３～４日	マスク。予防接種	12～３月
百日咳	特有の咳が消失するまで	のどの発赤 独特な咳	飛沫感染	６～15日	発病後 28日	予防接種	夏
麻疹（はしか）	解熱後３日を経過するまで	高熱 発疹	飛沫感染	10～12日	発疹のでる５日前 ～後４日間	予防接種	冬～春
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺の腫張が消失するまで	耳下腺の腫脹	飛沫感染	14～24日	発病７日前 ～発病後９日間	予防接種	冬～春
風疹（３日ばしか）	発疹が消失するまで	バラ紅色の発疹 リンパ節の腫脹	飛沫感染	14～21日	発疹のでる７日前 ～後７日間	予防接種	春～夏
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで	紅斑、丘疹、水疱、膿疱、痂皮の順に進行する発疹	飛沫感染 直接感染	11～20日	発疹のでる１日前 ～後６・７日間	ワクチン	冬～春
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状消退後 ２日を経過するまで	発熱 咽頭炎、結膜炎	飛沫感染 結膜接触	５～７日	発病後 ２～３週間	水泳後、流水で洗う。水泳禁止。	夏～秋
結核	伝染のおそれがないと認めるまで。	肺に病変を起こすことの多い 全身性感染症	飛沫感染	１～２ヶ月		ＢＣＧ接種 X線による早期発見	な し

＜第３種学校感染症＞

腸管出血性大腸菌感染症 コレラ	病状により医師によって伝染のおそれがないと認めるまで。	激しい腹痛、下痢、血便	経口感染	４～８日		トイレ消毒。食品の加熱。手洗い。	春～夏の ５月頃
		下痢、嘔吐、脱水症状		数時間～３日		手洗い。流行地で生水・生食品等を口にしない。	
		発熱、腹痛、下痢、嘔吐		１～５日		手洗い。流行地で生の食品等を口にしない。	
細菌性赤痢		持続する発熱、発疹（バラ疹）					
腸チフス		腸チフスと同じであるが症状が軽い。	1～2週間				
パラチフス							
流行性角結膜炎		涙、目やに、異物感 結膜の充血	結膜接触 汚染物	1週間以上	発病後 ２～３週間	水泳禁止。手洗い。 タオルの共用しない。	春～夏
急性出血性結膜炎		充血、出血	結膜接触 汚染物	24～36時間	発病後 ５～７日間	水泳禁止。手洗い。 タオルの共用しない。	夏

●出席停止でない感染症

＊下の一覧にあげた病気は、出席停止ではありませんが、医師の指示に従い、適切な治療を受けて下さい。

病 名		登 校 基 準	主 な 症 状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予 防 方 法	好発季節
溶連菌感染症		治療後24時間経て、全身状態がよければ登校可能。	扁桃炎などの上気道感染症、皮膚感染症など多彩な症状	飛沫感染	２～４日	治療開始後24時間	うがい、手洗い。	
ウイルス性肝炎	A型肝炎	発病初期を過ぎれば感染力は低下する。	発熱、頭痛、嘔吐、腹痛 黄疸	経口感染 二次感染	４～7週間	発病初期	手洗い。 なまものはさける。	
	B・C型肝炎	出席停止の必要はない。	発熱、だるさ、嘔吐、下痢 黄疸	血液感染	40～180日		血液にふれない。	
手足口病		発熱や口腔の水疱・潰瘍のある間は感染する。解熱して元気になれば登校可能。	発熱、口腔・咽頭に痛みを伴う水疱・潰瘍、手・足の末端や背部に発疹・水疱	飛沫感染	２～7日	症状のある間	手洗い。 おもちゃと保育者の手の消毒。	夏
伝染性紅斑（りんご病）		発病に気づいたときは感染力はない。	頬の紅斑 手足伸側にレース状紅斑	飛沫感染	17～18日	発疹のでる1～2週間前の数日間		冬～春
ヘルパンギーナ		感染は発症後２～３日。解熱して元気なら登校可能。	突然の発熱 咽頭の発疹・水疱・潰瘍	飛沫感染	２～7日	発病後 ２～３日間	外出をさける。	夏
マイコプラズマ感染症		急性期が終わり、症状が改善すれば登校可能。	ひどいしつこい咳	飛沫感染	２～3週間	急性期	マスクをする。	
流行性嘔吐下痢症		症状が回復し全身状態がよくなれば登校可能。	突然の嘔吐・下痢 便が白くなることがある	経口感染 飛沫感染	１～3日	症状がある間		冬

＊下の一覧にあげた病気は、出席停止の必要はありません。登校しながらの治療が可能です。

アタマジラミ		出席停止の必要はない。	頭のかゆみ		1ヶ月程度		タオル・くしの共用をしない。	
ミズイボ（伝染性軟属腫）		出席停止、水遊びの禁止の必要はない。	体幹・四肢に生じる半球状に隆起し、中心が凹んだいぼ	直接感染 間接感染			ビート板・タオルの共用をしない。	
伝染性膿痂疹（とびひ）		出席停止の必要はない。	紅斑、膿水疱、びらん、痂皮をつくる皮膚感染症	接触感染	２～10日		水泳禁止。 皮膚に触れない。	夏